

下関市立文関小学校 創立百五十周年記念

この度、下関市立文関小学校は、1872年に永福寺、赤間関小学校を開設してから創立百五十周年を迎えました。

十一月十四日に、コロナウィルス感染防止対策を万全に行った上で、関係者のみの出席にはなりましたが、創立百五十周年記念式典を行うことができました。ご臨席賜りました皆様方、誠にありがとうございました。

はれて記念式典を開催することができましたのも、これもひとえに普段から文関小学校を支えて頂いております、地域や各方面でご活躍の卒業生の皆様、学校の先生方、そして、保護者の皆様のおかげでありますことを、心より感謝申し上げます。

記念式典を行うにあたり、校長先生方と約一年半前から準備をして参りました。そのころには既に新型コロナウィルスも蔓延しており、先が見えない状況でした。しかし、こんな中でも私達に何ができるか。子供たちにどんな思い出を作つてあげられるかを実行委員の皆様で考えていきました。何度も何度も会議を重ね、地域の方々からお知恵をいただきながら、街全体で盛り上げていくことはできないかを考えていきました。本来なら、地域の皆様と、文関小学校の創立百五十周年をお祝いしたいところでしたが、やはり、このコロナ禍の中では、感染対策を一番に考えて実施せざるを得ませんでした。関係者のみで記念式典を開催せざるを得なかったのは非常に残念でしたが、反面、地域や保護者、関係の方々とは一体となって準備を進めることができましたことは、何よりの収穫でした。

地域全体で一丸となり、準備を進めていくことができたのは、記念式典だけでなく、同時進行で進めていた記念事業においても同様でした。その中のいくつかをご紹介します。①南門の改修及び門柱の表札取替 ②東門の修繕 ③管理棟玄関の表札取替 ④管理棟屋外時計の取替 ⑤学校沿革史掲示板の刷新・移設 ⑥創立百五十周年記念文庫の設置（本百五十冊贈



呈、その他まだまだ載せきれないほどの記念事業を行うことができました。これらは、すべて文関小学校区の自治会の皆様、関係諸団体や企業、そして、たくさん卒業生の皆様からの寄付金で賄うことができました。この場をお借りしてお礼申し上げます。本当にありがとうございました。

記念式典では、来賓に東京2020オリンピック銀メダリストの原沢久喜さん、記念講演会の講師にフリーアナウンサーの八木美佐子さん、特別ゲストとして原沢さんの弟で俳優の原沢侑高さんにお越しいただきました。お三方とも文関小学校出身で、式典全体を盛り上げて頂きました。

記念講演会終了後の記念イベントでは、各学年に分かれての総数二千五百個の餅まきも行い、子供も大人も大盛り上がりで閉幕することができました。

午後からは、保護者主催で、スポーツ振興会の方にもご協力をいただきながら、文関フェスティバルを開くことができました。新型コロナウィルスのまん延で、昨年度並びに今年度も開催できない状況にあつたため、参加した子供たちは本当に楽しそうでした。記念式典当日は、一日中、楽しい一生の思い出となる日になったに違いありません。

栄えある歴史と伝統をもつ文関小学校が、創立百五十周年の節目を迎えるにあたり、記念事業実行委員長の大役を微力ではございますが務めさせていただきました。あらためて、わが故郷文関小学校区の温かさや連帯感を感じたところです。本当にありがとうございました。

結びになりますが、この創立百五十周年記念事業が文関小学校の更なる充実発展に寄与することを期待するとともに、これからも、これまで以上に皆様に愛される文関小学校となるために、私たちPTAも努力し、学校と地域と保護者で文関小学校区を守っていければならないと強く感じました。

この創立記念事業に携わって頂いたすべての皆様に感謝し、また、あらためて紡がれた皆様とのご縁に感謝し、ご挨拶とさせていただきます。

下関市立文関小学校

創立百五十周年記念事業

実行委員長 勝本 竜一

